

独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO 登別病院通信

Japan
Community
Healthcare
Organization

発行日 2026年1月

NO.30



撮影者 JCHO登別病院 整形外科医 藤 良倫

今月号の内容

- 新年のご挨拶
- 胃がんってどんな病気？
- 薬のお話し
- 部署紹介
- 地域医療連携室の医療相談について
- 第21回登別オープンカンファレンスの開催
- 外来診療のご案内





駿馬の如く ー令和8年 午年ー

新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって良き一年となることを、職員一同、心から願っております。

今年は午年です。馬（午）は古来より力強く駆け抜ける存在として人と社会に深くかかわってきました。馬産地、北海道ではとりわけなじみのある動物です。JRの車窓から見える牧場の若駒はエネルギーに溢れています。

さて我が国はといえば、少子高齢化や人口減少が進行し、昨今の物価高騰や医療人材不足で医療機関の経営は厳しさを増しています。経営悪化による医療機関の廃止、縮小、統合も加速してきました。医療、介護、福祉は、かけがえのない命を守るための大切なインフラです。今後も安定して継続していかなければなりません。そのためには、今ある組織の連携強化をはかり効率的な地域包括ケアシステムを作り上げることが重要です。



院長
石川 典俊

JCHO登別病院も新築移転から今年で7年目になります。JCHOの基本理念である「地域包括ケアシステムの要」となるべく、当院においても駿馬のようなスピード感を持ち、直面する課題に挑み、変化を恐れず、地域の皆さんに安心のできる医療をめざして、全力で駆け抜けていきたいと思っております。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



病気 のお話し



胃がんってどんな病気？



内科医 代田 充 医師

前回は大腸がんに関してのお話でしたが、今回は胃がんについてお話させていただきます。

胃がんは国立がんセンターの統計2022年によると、全がん死亡のうち男性は肺がん、大腸がんに次いで3位、女性はがん死亡のうち5位を占める頻度の多いがんです。

疾患別罹患(がんになる事)割合でも男性も、女性も5位です。

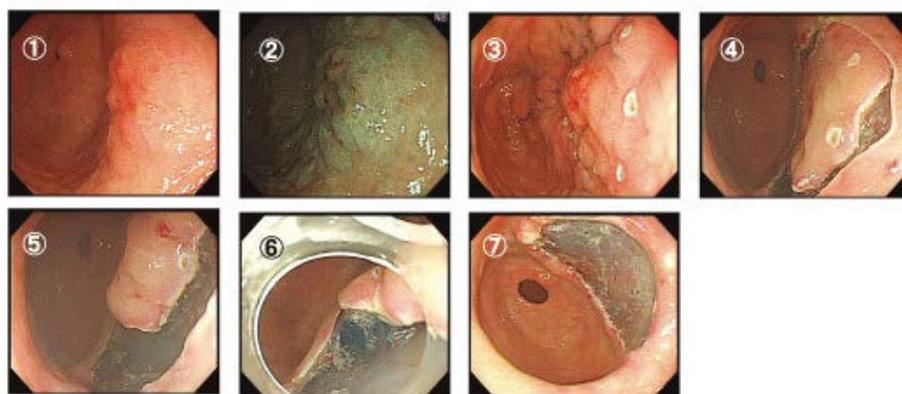
では予防法はあるのでしょうか？もちろんあります。胃がんの原因は99%ピロリ菌といわれています。現在登別、室蘭両市では毎年中学2年生を対象に尿中検査でピロリ菌を拾い上げ、除菌(胃薬+抗生剤内服)で若年者の胃がん撲滅を図っています。登別市では2016年から開始となっているようです。

では成人はどうするの？と疑問に思われるかもしれません。成人でも胃カメラを受けて、ピロリ胃炎が疑われ、尿検査や便検査で陽性ならば、保険診療で除菌治療は可能です。JCHO登別病院でも毎月数人は除菌治療を行っております。(現在胃カメラの枠が混みあっておりますので、お早目にお申し込みください)

若いうちにピロリ菌を退治しておいた方が、胃炎の進行はなく、胃がん予防効果が高い、といわれています。

残念ながら長年ピロリ菌がいる状態で除菌しても、胃炎は改善しない患者さんも中にはいらっしゃいます。その場合は毎年胃カメラ検査をうけて、早期胃がん発見が重要です。早期であれば、内科医が胃カメラで早期胃がんを切除することが可能です。

下の画像は①から⑦にかけて切除している内視鏡画像になります。



是非、皆様も一度胃カメラ検査を受ける事をお勧めします。胃カメラが恐怖、という患者さんには麻酔(点滴から眠り薬を注射)で検査時間約5分程度眠っていただいているうちに検査を終わらせる、という方法もあります。

胃カメラ検査をご希望の方は、外来スタッフへご相談ください。



用法(服薬のタイミング)を正しく理解していますか？



薬剤師 福野 和治

【用法】とは、お薬を服用するタイミングの事で、多くは「食事」を基準に決められています。指示された用法で服用しないと、薬の効果が十分に発揮されない場合があります。今回は、食事摂取に関連した用法の、正しい考え方を紹介します。

食後

薬の服用の基本となります。「胃の負担を減らす」「忘れないための目安にする」などが主な理由です。「食事が終わってから30分後」と勘違いされている方もいますが、正しくは【**食後30分以内**】です。飲み忘れ防止のために【食後すぐ】の服用をお勧めします。

食前

「食べ物や胃酸の影響を少なくする」などの目的があります。【**食事の20～30分前**】に服用してください。食事の支度をされる際に、薬も一緒に準備しましょう。

食直後

「食べ物と混ざる」ことを目的としています。【**食事が終わって5分以内**】に服用してください。飲み忘れ防止のために【食後すぐ】の服用をお勧めします。「食後」の薬があれば、一緒に服用して構いません。

食直前

「食べ物を胃の中で待つ」「食べ物と混ざる」などを目的としています。【**食事を始める5分前以内**】なので、食事の準備ができてから服用してください。服用後すぐにご飯を食べ始めて構いません。

食間

「空腹時」の服用を目的としています。【**食事が終わっておおよそ2時間後**】に服用してください。飲み忘れを防ぐために、服用予定時刻の前後30分程度のズレは気にせず服用してください。 **※食事の途中ではありません!!**



お薬を飲み忘れた場合の対応は、事前に医師・薬剤師に相談しておきましょう。お薬の効果を最大限に発揮するため、指示通りの用法での服用を心掛けましょう!!

部

署

紹介



地域包括支援センターゆのか



介護支援専門員
菊池 豪

今回は、当院が運営する『地域包括支援センター』のご紹介をさせていただきます。

「地域包括支援センターゆのか」は、高齢者の方やその家族、地域の方の身近な相談窓口として平成18年4月の介護保険法改正で設置された機関で、今年で20年目になりました。

主任介護支援専門員、社会福祉士、保健師等の資格を持つ5人の職員が力を合わせて日々奮闘し、20年という時代の変化を感じつつも、工夫を凝らして取り組んできました。

現在は、経験も知識も豊富な人材が揃い、力強いメンバーです。

私たちの主な仕事は、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で自立した生活を続けることができるよう、心身の健康保持や生活安定のため必要な援助を行うことです。そのため、相談支援と地域福祉の増進を包括的に支援することを目的に業務に取り組んでいます。

令和6年度は294件の新たな相談を受け、介護予防サービスを利用する要支援1と要支援2の利用者数は370件を超えました。電話や来所、時にはメールでのご相談もあります。

地域福祉の包括的な支援では、町内会や老人クラブ、いきいきサロン等へお伺いして出前講座を開催し、小中学校では認知症サポーター養成講座を続けています。ゆのか通信の発行や介護関係者に向けた勉強会の開催もしています。

この広報誌をご覧になっている皆さんの中で、介護だけでなく、健康や生活のこと、心配なことがあれば、秘密は守りますので、安心してご連絡ください。

連絡先は、☎0143-88-2106です。市のホームページにはパンフレットが掲載されていますので検索してみてください。





地域医療連携室の 医療相談について



地域医療連携室は、当院と地域の医療機関・介護施設・介護事業所・行政機関等と連携し、患者さんを中心に切れ目のない医療・介護サービスが提供できるよう支援する部門です。

当院の地域医療連携室は前方支援（患者さんが病院を受診したり、入院・転院する際に行う支援）と後方支援（入院された患者さんの入院中から退院、それ以降の生活に関わる支援）の2つあり、受診から退院まで様々なサポートをしています。



医療相談係の役割

医療相談係は主に入院患者様への退院支援（後方支援）を行います。当院では、一般病棟・包括病棟と回復期病棟の2病棟となっており、各病棟に担当の医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）がいます。病気や怪我によって、生活で困ることや心配事なども出てくると思います。医師や看護師、リハビリスタッフと協働して、患者さんやご家族に対して、一緒に解決方法を考えていきます。

また、外来の患者さんやご家族からの相談にも対応しています。介護保険についてや障害手帳について等相談は多岐にわたって対応しています！

～入院中によくある相談～

- 介護保険や障害手帳等の福祉制度について聞きたい
- 他医療機関への転院先や退院先となる施設はどのようなものがあるの？
- 入院費の支払いや生活費に不安だ
- 退院といわれたが、このまま退院して大丈夫だろうか、生活が不安だ…等



最後に

入院中の患者さんや外来患者さん、ご家族の方は、生活などについて相談したいこともあると思います。悩みを抱え込まないで、ぜひ相談してください！次に繋がる架け橋となれるよう頑張ります！



第21回登別 オープンカンファレンスの開催



地域医療連携室
室長 伊藤 洋介

当院では、地域の開業医や関係機関等を対象に、「医療技術の情報共有、意見交換の場を定期的に設けることにより、当院を核とした医師間の交流、地域医療連携の強化・推進をはかる」ことを目的に、21回目となる「登別オープンカンファレンス」を11月13日（木）登別市観光交流センター ヌプルにて開催しました。今年度の開催は、コロナ流行の影響を受け、7年ぶりの開催でした。

当日は地域の先生方のほか、地域連携を担当されている職員の方々にも多数ご参加いただき、和やかな雰囲気の中で活発な意見が交わされました。

発表では、当院整形外科 淵上孝一医師から「人工関節置換術」について、当院での治療や手術の流れなどを紹介しました。また、内科 代田充医師からは「当院の内視鏡検査」について、検査実績や検査手技など、安全・安楽に検査を受けていただくための取り組みや工夫などの発表がありました。

参加された方々からは、日頃の診療で感じていることや、診療の場面での患者さんの思いや訴えなどから、地域の医療をよりよくするための意見が多く寄せられました。カンファレンスの後は意見交換会の場で地域医療連携について交流を深めることができました。

今後も当院は、地域の皆さまと一緒に、より安心して受診いただける医療づくりを進めていきたいと考えております。



内科 代田 充 医師



整形外科 淵上 孝一 医師

● 外来診療のご案内 ●

診療受付時間 8時30分～11時30分
 診療開始時間 9時（脳神経内科9時30分）～

● 外来診療担当医

	診察室	月	火	水	木	金	
整形外科	午前	B3	/	江崎 克樹	江崎 克樹	淵上 孝一	江崎 克樹
		B4	小澤 慶一	小澤 慶一	淵上 孝一	小澤 慶一 (予約10時30分枠迄)	淵上 孝一
		B5	藤 良倫	/	藤 良倫	/	藤 良倫
内科	午前	A2	石川 典俊	石川 典俊	石川 典俊	石川 典俊	石川 典俊
		A1	河田 由香 (10時00分から)	/	/	河田 由香	河田 由香
		A3	/	代田 充	代田 充	/	中津 知己 (第4週)
脳神経内科	午前	A1	出張医	/	出張医	/	
泌尿器科	午前	B2	/	出張医	/	/	

● 診療体制が変更となる場合があります。その際は院内告知やホームページ上でお知らせします。

● 予約の変更は専用ダイヤル☎0143-50-6840（受付は平日15:00～17:00）へお願いします。

編集 後記

新年あけましておめでとうございます。皆様、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年も当院ならびに広報誌は皆様の健康に貢献できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

広報委員 佐藤



〈各交通機関〉

- JR登別駅下車（特急列車停車）（徒歩10分）
- 札幌－室蘭高速バス登別下車（徒歩7分）
- 道央自動車道：登別東インターより2分

ジェイコー
JCHO 登別病院

〒059-0598 登別市登別東町3丁目10番地22

TEL (0143) 80-1115 FAX (0143) 80-2250

URL : <https://noboribetsu.jcho.go.jp>

Mail : main@noboribetsu.jcho.go.jp

JCHO登別病院通信 No.30

2026年1月発行

出版責任者 院長 石川 典 俊

編集長 事務長 長 尾 真 人